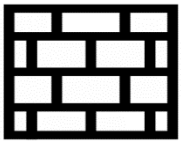
# レンガ(煉瓦)の本

図書館推し活
展示にあわせて



レンガ（煉瓦）は、主に粘土を主原料とし、砂や石灰などを混ぜて成形し、乾燥させた後、高温で焼き固めて作られる建築材料です。赤褐色が一般的です。日本では、幕末から明治時代にかけて西洋建築の普及とともに使用されるようになり、その当時に建てられた、東京駅や横浜赤レンガ倉庫などの煉瓦造は、街のランドマーク的な建造物として、保存や改修がなされています。

自然素材であるため、環境に優しいレンガは、その独特の風合いが好まれ、現在でも建築物の外壁、内壁、床、庭の舗装、花壇など、幅広い用途で利用されています。

**れんが建築の本をいくつかご紹介します！**

| 書誌情報<br>(書名、副書名、 著者など) | 出版情報<br>(出版社・発行年月) | 請求記号<br>資料番号 |
|---|---|---|
| 横浜の名建築をめぐる旅<br>菅野 裕子/著、恩田 陸/著 | エクスナレシッジ<br>2021.7 | 523.1/ス<br>104053641 |
| 天主堂建築のパイオニア・鉄川與助<br>長崎の異才なる大工棟梁の偉業 喜田 信代/著 | 日貿出版社<br>2017.2 | 523.1/キ<br>103118704 |
| 東京駅と煉瓦　JR 東日本で巡る日本の煉瓦建築<br>東京ステーションギャラリー/編集・デザイン | 東日本旅客鉄道<br>1988.10 | 523.1/ト<br>102717410 |
| 幻の東京赤煉瓦駅　新橋・東京・万世橋<br>中西 隆紀/著 | 平凡社<br>2006.8 | D686.2/ナ<br>019596344 |
| 赤レンガの東京駅（岩波ブックレット）<br>赤レンガの東京駅を愛する市民の会／編 | 岩波書店<br>1992.6 | D686.5/ア<br>014443478 |
| 赤れんが・迎賓館・議事堂小物語<br>近代建築を伝える会/編集 | アーキ・プラン<br>1995.10 | 521.6/ア<br>012200775 |
| 日本の最も美しい赤レンガの名建築<br>近代建築を伝える会/編集 | エクスナレッジ<br>2018.10 | 523.1/ニ<br>103397567 |
| 赤レンガを守った経営者たち　富岡製糸場世界遺産への軌跡<br>佐滝 剛弘／著 | 上毛新聞社事業局出版部<br>2016.11 | 639.0/サ<br>103059292 |
| 西洋館を楽しむ　カラー版（ちくまプリマー新書）<br>増田 彰久/著 | 筑摩書房<br>2007.10 | A523.1/マ<br>100088700 |

| | | |
|---|---|---|
| 名建築に逢う　首都圏<br>🖊東京新聞出版局/編著 | 東京新聞出版局<br>2008.3 | 521.8/メ<br>100200041 |
| れんがと建築 デザイン/ディテール設計/工法<br>🖊C.C.Handisyde＆B.A.Haseltine／著，れんが研究委員会／訳 | 彰国社<br>1980.6 | 525.5/ハ<br>013637271 |
| れんがと建築　積み重ねた美の表情<br>（INAX Booklet） | INAX<br>1989.1 | 523.0/レ<br>013705890 |
| 煉瓦造　遺したい日本の風景<br>🖊日本風景写真協会会員/写真 | 光村推古書院<br>2013.5 | 748/レ<br>101858834 |
| 戦後建築の終焉　世紀末建築論ノート<br>🖊布野 修司/著 | れんが書房新社<br>1995.8 | 523.1/フ<br>016092100 |
| 近代日本の洋風建築　開化篇<br>🖊藤森 照信/著 | 筑摩書房<br>2017.2 | 523.1/フ<br>103132552 |
| 赤レンガ近代建築　歴史を彩ったレンガに出会う旅<br>🖊佐藤 啓子/編著 | 青幻舎<br>2009.4 | 523.1/サ<br>100439378 |
| 日本の最も美しい赤レンガの名建築<br>🖊歴史的建物研究会/著 | エクスナレッジ<br>2018.10 | 523.1/ニ<br>103397567 |

## 市川・国府台の赤レンガ倉庫

| 書誌情報<br>(書名、副書名、🖊著者など) | 出版情報<br>(出版社・発行年月) | 請求記号<br>資料番号 |
|---|---|---|
| 知ってる？市川の赤レンガ倉庫<br>🖊和洋国府台女子高等学校/編集 | 赤レンガをいかす会<br>2017.3 | I/A6<br>102756338 |
| 放置と崩壊の危機にある市川国府台の赤レンガ建築物<br>その保存と活用を求めて | 赤レンガをいかす会<br>2015.11 | I/A6<br>102138120 |
| 明治前期のレンガ建築をどう活かすか<br>市川国府台に遺る陸軍教導団武器庫 | 高木彬夫<br>2020.6 | I/A6<br>103523813 |

レンガついでに
薀蓄（うんちく）

中央図書館のある施設、生涯学習センター（メディアパーク市川）の外壁は、英国産のレンガを使用しています。英国製のレンガは、国産と比べて柔らかく、使い込むほどに独特の風合いを出してくれるものとして採用されたのですが、開館して３０年を迎えていかがでしょうか。レンガを貼り付けるだけでなく、重ね組み合わせることで、壁も４０センチの厚みを持たせています。

『City Voice 市川の街から№17』22p　「インタビュー メディアパーク設計者に聞く」 より抜粋